

令和6年 No 86
初春ねんが号

あきばさん

発行人/発行所
秋葉山新井寺
272-0144
千葉県市川市新井
1丁目9の1
電話047-357-8319
FAX 047-357-8399
mail: info@shinseiji.jp
http://www.shinseiji.jp
郵便振替 00150-2-282968

謹賀新年

令和六年改歳の令辰にあたり
当寺檀信徒ご一同様秋葉講中
の皆様梅花講・月例坐禅会・
写経会の皆様 さらに有縁無縁
信心の願主皆様の身心健康を
第一に福寿ご多幸を心より
幾重にもご祈念申し上げます
本年もどうぞよろしく

お願いいたします

新井寺住職
山内一同
花屋秋葉山

太祖瑩山禅師様七〇〇回大遠忌

当山住持

本年は、私たちの大本山の一つ大本山
總持寺を開かれた太祖瑩山禅師様の七〇
〇回大遠忌を迎えます。ご承知のように、
曹洞宗では仏教の開祖お釈迦様を「一仏」と
申し上げ、福井県の大本山永平寺を開
かれた道元禅師様を「高祖様」、神奈川
県の大本山總持寺を開かれた瑩山禅師様
を「太祖様」と申し上げ、「一仏両祖」
の「三尊仏」として帰依信仰(信仰のより
どころとすること)しております。
檀信徒の皆様には、日常生活の中にあ
つて、この一仏両祖様のみ教えを正しく
信仰実践し、人生を世の中を、心正しく
豊かに平和に向かつて代々継承し精進さ
れているかと存じます。したがいまして
この両祖様のお一方であられる大本山總
持寺の太祖瑩山禅師様の五十年に一度の

大遠忌、報恩行持にあたり、私たち曹洞宗では御寺院・檀信徒および関係者ご縁の皆様共々に心一つにして、難値難遇の有難い大行持に参加・修行し、それぞれにこの上ない功德を積まれますよう、ご祈念申し上げます。

瑩山禅師様は、道元禅師様から数えて曹洞宗四代目にあたられ、一二六四(文永元)年十月八日に越前(現在の福井県)に誕生されました。大変熱心に観音様を信仰しておられたお母様のご縁もあつてか、幼少から信仰心に目覚め、十三歳で出家得度、以後、ひたすら正伝の仏法を弁道修行されました。そして、たくさんのお弟子様を養成輩出し、多くの寺院を建立して、曹洞宗の興隆発展に、世の中の平和に尽くされ、一二二五(正中二)年九月二十九日に六十二歳で遷化(亡くなること)されました。

お釈迦様・道元禅師様からのみ教えである大切な正伝の仏法を継承され、日本全国に布教教化、曹洞宗の信仰を拡大し、こんにちの曹洞宗の基礎を築かれた瑩山禅師様とそのみ教えは、今もなお、私たちの心の中に生きておられます。

願わくは この功德をもって
普く一切に及ぼし 我等と衆生と
皆共に仏道を成ぜんことを 合掌

同事というは

松井量孝



「寒いね」と話しかければ
「寒いね」と答える人のいる
あたたかさ

俵万智『サラダ記念日』

「寒い」は漢字で、「あたたかさ」はひらがなで書かれているところに、外の空気の冷たさと気持ちのあたたかさがより伝わってくるように感じます。「寒いね」と話しかけられる相手が出て、同じように「寒いね」と答えてくれる人がいる。なんでもない、ごく日常の場面に思えますが、自分の気持ちを理解してくれる人がいて、さらに共々有できる人がいるということは、じつはとてもこころづよく、安心できることなのだと思えます。

「同事、といふは、不違なり。自にも不違なり、他にも不違なり」(『正法眼蔵』)

「菩提薩埵四摂法」。「どうじ」は、「同事(時を同じくする)」ではなく、「同事(事を同じくする)」。

同事とは、違わな(たが)いこと。つねに相手の立場に立って思いやり、相手の気持ちを理解するということ。自分と相手とが「ひとつの世界」を生きているということです。

俵万智さんの歌のように、同じ経験をするとどこにこそ、同じ気持ちを共有することができるといふことを思うとき、「同事」という生き方の難しさと限界を感じてしまうこともあります。しかしながら、相手を理解するということは、おたがいを尊重し、活かしていくということ。それぞれがそれぞれの個性や特徴を発揮して、認め合い、その調和をたもつていくということ。それが「自にも不違なり、他にも不違なり」という生き方なのです。ここに「同事」という教えの深さがあるように思えます。

さまざまなことに向きあうとき、できるだけやさしくあれるように、自分のことのように思えるようにありたいと願っています。

本年もよろしくお願い申し上げます
みなさまのご清安をお祈りいたします

(当山 副住職・編集小子・未どし) 合掌

しんせいじの年中行持

どなたでも参加いただけます



一月一日 元旦祝禱諷經

二月十五日 釈尊涅槃会(ねはんえ)

三月二十一日 春ひがん法要

四月八日 釈尊降誕会(ごうたんえ)

六月九日 先代方丈様報恩忌

七月十六日 おせがき

九月二十三日 秋ひがん法要

十一月十八日 秋葉火防大祭

十二月八日 釈尊成道会(じょうどうえ)

十二月三十一日 年越し坐禅会

月例行持

● 月例坐禅会

● 月例写経会

● 梅花講(御詠歌) 月二回 午前九時半

※ 変更や中止となることがあります

※ 月例行持の日は おたずねください

令和六年 年回供養表

一周忌	令和五(二〇二三)年
三回忌	令和四(二〇二二)年
七回忌	平成三〇(二〇一八)年
十三回忌	平成二四(二〇一二年)
十七回忌	平成二〇(二〇〇八)年
二三回忌	平成十四(二〇〇二年)
二七回忌	平成十年(一九九八年)
三三回忌	平成四年(一九九二年)
三七回忌	昭和六三(一九八八年)
四三回忌	昭和五七(一九八二年)
四七回忌	昭和五三(一九七八)年
五十回忌	昭和五〇(一九七五年)
百回忌	大正十四(一九二五年)